

## 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人あすなる会	代表者	竹内一夫	法人・事業所の 特徴	ほぼ同敷地内に法人の保育園、福祉施設があり法人行事を通してだけでなく日頃より交流があり、園児さん利用者さん双方にとって心とむい良い時間となっています。役割のある喜びを感じていただき、笑顔がたくさん見れるよう家庭的な雰囲気を大切にし、季節の行事やお出かけ、料理、お菓子作りなどとりいれています。家族さんもゆとりをもって介護できるような状況によっては柔軟にサービスを提供し在宅での生活が日々かわりなく過ごされるよう支援します。
事業所名	あすなる多機能型居宅介護施設	管理者	飯塚久代		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	1人	人	2人	1人	人	2人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	評価項目への解釈を統一する。各項目に掲げた改善計画に積極的に取り組み、毎月の職員会議時に振り返り、確認する。運営推進会議時に報告する。	個別に毎月目標を掲げ取り組み、振り返り、来月の目標を掲げました。全職員で共有し運営推進会議時に経過報告しました。	28年度は個人、29年度は全員での目標となることで職員の意欲が高まると思います。職員によって達成感に違いがあり評価に差があったように思う。夜勤専従、看護師は直接家族さんと話す機会はほとんどないので評価できない項目もあった。	職員全員でひとつの目標を掲げ取り組み、振り返り翌月の目標を設定する。経過については運営推進会議で報告する。
B. 事業所のしつらえ・環境	ベッド、臥床時の利用者さんの車椅子など不要なときには2階に上げ玄関、ホール内の広さを確保する。	全職員が常に意識しホール内の広さを確保しました。	計画にあるようにホール内の広さを保たれている。玄関も車椅子等で狭くなっていない。調理中の良いにおいがしている。楽しそうに活動されている。	心地よく過ごせる環境となるよう利用者さんと一緒に考え実行する。
C. 事業所と地域のかかわり	多機能の活動に関心を持っていただけるよう多機能新聞に行事の予定を載せる。	翌月の行事予定を多機能新聞と一緒にお知らせしました。	事業所のある場所がわかり難い。登録者以外のかたから直接相談されることはなく、困ったことがあればまず、民生委員さんやあんしん支援センターへ相談される。行事の知らせは新聞と一緒に回ってはいいたが、事業所へは邪魔したらいけないかとか思い参加し難い。	敬老会やクリスマス会など家族さんが来られる行事の時には、ご近所さんに回覧だけでなく直接声をかける。
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み	毎年参加している行事には引き続き参加する。新たな行事等の情報を利用者さん、職員、地域の方と共有し参加する。	毎年参加している行事に参加しました。イベント情報を利用者さんと収集し車椅子で出掛けられる場所へは出掛けました。	高松コミュニティーセンターの文化祭、学習発表会、菊花展など地域でのイベントに出掛けしている。好天時には施設の周りを散歩したり、外での昼食、お茶を楽しみ保育園児さんとふれあう時間を楽しみにしている。	毎年参加している行事等だけでなく、利用者さんの思い出の場所、行ってみたい場所などにも出かける。
E. 運営推進会議を活かした取組み	地域の行事など身近なことも情報共有する。	近年の町内会について話題となり職員と共有しました。地域の方とのかかわり方をどうすればよいのか課題は残りました。	地域のかたの困りごとは民生委員さんからあんしん支援センターへつながり、依頼がないとお手伝いできない。地域での行事や催しの情報は運営推進会議ではほとんどでなかった。	可能な限り担当職員以外の職員も運営推進会議に参加し学ぶ。
F. 事業所の防災・災害対策	防災計画を運営推進会議出席者に配付する。会議時、計画に沿って行った訓練等都度報告する。	28年度の防災計画を5月の会議時に配付しました。都度、報告しました。	赤川を整備されているので浸水することはないと思う。法人、多機能での避難訓練は行っているが、地域の訓練に利用者、職員は参加したことはない。地域の訓練も大掛かりなものではなく机上での訓練となっている。	消防計画書に洪水時の避難計画を追記する。火災だけでなく地震、洪水時の訓練も計画し実施する。